



発行所 長洲中央公民館 印刷所 玉名新聞社

明るい都市づくりを サービスに町民室設置

町政を語る座談会



座談会出席者(敬称略) 大石 正行(61)町会議長 築地 邦輔(65)町助役 城戸 主頼(55)青年団長 中山しん子(36)下東町 倉岡 幸代(40)駅道 城戸 祐之(24)宮崎、第二 徳永 貞知(40)東荒神町 司会者 藤末中央公民館長 記録 林田社教主事

に大きな関心と希望を持つてい... 農協合併を第一に取り上げた...

農協合併を第一に取り上げた... 農協合併を第一に取り上げた...

農協合併を第一に取り上げた... 農協合併を第一に取り上げた...

農協合併を第一に取り上げた... 農協合併を第一に取り上げた...

農協合併を第一に取り上げた... 農協合併を第一に取り上げた...

農協合併を第一に取り上げた... 農協合併を第一に取り上げた...

農協合併を第一に取り上げた... 農協合併を第一に取り上げた...

昭和三十八年度予算も三月二十五日の町議会で議決され... 四月から新年度予算により町政が行なわれることになった...

農協合併を第一に取り上げた... 農協合併を第一に取り上げた...

農協合併を第一に取り上げた... 農協合併を第一に取り上げた...

農協合併を第一に取り上げた... 農協合併を第一に取り上げた...

農協合併を第一に取り上げた... 農協合併を第一に取り上げた...

農協合併を第一に取り上げた... 農協合併を第一に取り上げた...

農協合併を第一に取り上げた... 農協合併を第一に取り上げた...

公明選挙で明るい町を

中央公民館長 藤末 副

長洲町は目下未曾有の変化を... 国民生活を阻むものに、天災は...

国民生活を阻むものに、天災は... 国民生活を阻むものに、天災は...

国民生活を阻むものに、天災は... 国民生活を阻むものに、天災は...

国民生活を阻むものに、天災は... 国民生活を阻むものに、天災は...

国民生活を阻むものに、天災は... 国民生活を阻むものに、天災は...

国民生活を阻むものに、天災は... 国民生活を阻むものに、天災は...

国民生活を阻むものに、天災は... 国民生活を阻むものに、天災は...

国民生活を阻むものに、天災は... 国民生活を阻むものに、天災は...

国民生活を阻むものに、天災は... 国民生活を阻むものに、天災は...

清里地区館長に就任して

田成正信

長い間地区館長として、清里として、私が三月一日付で清里地区の社会教育を担当して来り...

長い間地区館長として、清里として、私が三月一日付で清里地区の社会教育を担当して来り...

長い間地区館長として、清里として、私が三月一日付で清里地区の社会教育を担当して来り...

長い間地区館長として、清里として、私が三月一日付で清里地区の社会教育を担当して来り...

長い間地区館長として、清里として、私が三月一日付で清里地区の社会教育を担当して来り...



長い間地区館長として、清里として、私が三月一日付で清里地区の社会教育を担当して来り...

長い間地区館長として、清里として、私が三月一日付で清里地区の社会教育を担当して来り...

長い間地区館長として、清里として、私が三月一日付で清里地区の社会教育を担当して来り...

長い間地区館長として、清里として、私が三月一日付で清里地区の社会教育を担当して来り...

長い間地区館長として、清里として、私が三月一日付で清里地区の社会教育を担当して来り...

長洲町行政日誌(二月份)

- 一日 家屋評価 ミルク配給(腹袋)
二日 中小企業経営改善講習会
三日 玉工高起工式 防犯灯点検
四日 尾地協議会発足 港灣埋立
五日 家屋調査 ミルク配給
六日 当初予算打合せ 町村長会
七日 煙草審査協議会 所得税申告指導 農具税照合
八日 町長上京 家族計画指導
九日 税金申告指導
十日 舗装関連用地交渉 贈与
十一日 尾地協議会発足 港灣埋立
十二日 地測量結果打合せ 貝そう組合との話し合い
十三日 六栄小種痘検査 チョコレート皮肉注射 公営企業
十四日 説明会 舗装関連用地交渉
十五日 選挙管理委員会
十六日 プレスコンクリート津田専務 建設省専門委員西畑先生工場視察
十七日 舗装関連用地交渉 行末川災害工事及改修用地交渉



### 昭和三十七年度全国学力調査結果概要と所感

#### 学力調査結果概要と所感

教育長 長 嶺 朝 良

調査の目的  
学力調査を行なう文部省のねらいは、次の三点である。  
一、教育課程に関する方策の樹立  
二、学習指導の改善に役立てる資料とする  
三、教育条件の整備にも利用する

従つて、教育委員会も、学校も、この目的に添つて調査の結果を大に利用して学力の向上を

### 昭和37年度学力調査結果

(小学校)

		全国	県	長洲
国語	5年	56.4	50.4	47.2
	6年	61.2	56.8	58.4
算数	5年	54.0	49.6	46.0
	6年	48.8	45.2	43.6

(中学校)

		国語	社会	数学	理科	英語
2年	全国	62.5	44.3	40.0	39.5	56.8
	県	57.8	41.3	35.3	37.0	52.8
3年	全国	59.0	50.0	41.0	38.0	57.0
	県	53.3	47.3	37.0	35.5	55.0
長洲	53.3	46.3	37.3	34.0	55.0	

重三先生、県教育研究所所長、先生を講師に、教職員全員並びに各PTA会長を交え講師から全国と県の結果報告を聞き、続いて各教科の問題別に見た留意点の指導があつて、今後の学習指導の改善に考えさせる処多々、感銘深かつた。

調査の結果(表参照)  
別表の結果から見て、中学校は数学が県平均点を上廻り、理科は他教科に比べ下廻りとなつて居るが、昭和三十六年度より進捗して向上している。小学校は本年度の結果は県の平均点を上廻り、この傾向が更に進んでいる。六年の国語が上廻っているが、これは偏に諸先生方の努力によるものと思われる。

予習復習の奨励は、一年生の時から習慣づけなければ効果が上がらず、特に中学校では三年になつてからのむづかしく、進歩が著しきようである。進歩が著しきようである。進歩が著しきようである。

教育委員会でも学力の向上策として、前年に引き続き学校教育の努力目標に学力水準の向上を大きくとりあげたいと思つて居る。それは、ただ、お題目に終らないよう学校の先生方の意見をきいて具体策をたてること共に、教育条件の整備充実の一層努力を払いたい。

#### 留学生との一日を送つて

##### 親善交歓会より

##### 青年学級生 添島 法子

三十七年度青年学級最終行事として、外国人留学生と親善交歓会を去る三月二十四日開きました。

留学生といふは、私達とは一枚の壁があるみたいで、今まで見たばかりの傍観者にすぎませんでした。何となく日本人でない感じがして、私達が前日から泊りがけで作った寿司弁当も、おいしいといつて食べていたのでは、恐らく青年学級下さうなものでした。

#### 永方神社

社日様に別れを告げ、かねて暮輪の区長上田浩さんからお話があつた永方神社を訪ねた。これは別名を「先宮」ともいふ。町民の多くは「先宮」といふ名前の方が親しみを感ずるであらう。私が小学生の頃、遠足に行つた時は小さな山道だつたのに、今日十数年ぶりに訪ねてみると幅員十メートル余の立派な道ができて、両側には桜の苗木が植えられてあつた。

#### 新刊書紹介

「魅力ある会話」平井昌夫著  
「今晩のおかず」橋口富子著  
「オリビック」馬立竜雄著  
「加工野菜の栽培」井田 繁著  
「トマト増収技術」景山善英著  
「農村婦人の生産活動」田中 隆著

#### 永方神社 (一先宮)

明治四十年二月、村社になり神饌略儀供進の神社に指定された。古庄宮司並びに浦田宮守の語によれば、戦時中は三社詣りとして、武運長久を祈る参詣の人が絶えなかつたといふ。そして社殿内にはたゞさんの日の丸の旗が上つていたといふ。又、祭神は、神武天皇の皇子神八井耳命の御子である。

#### 「小 浪」

春の海に陽炎がもえ、港の緑地帯のフェニックスやサボテンの熱帯植物が観光客の目を惹きつける頃になつた。観光客への町の第一印象を美しくするために、緑地帯をきれいにしておきたい。

社殿には、百人一首のカルタの絵の類が四方に掲げられて、遙か西の方を望めば、長洲町がパノラマのように見える。紺碧の海と雲仙岳の雄姿が望見される。後十年もすれば、この長洲町には有明製鉄やその関連産業の煙突が林立することであろう。参道の両側には前総務課長岡氏が在任中植えられた桜が蕾をふくらませていた。

### 郷土の遺跡を訪ねて

社日様 (塩屋)



梅の花の咲く頃であつたらうか、塩屋の区長さんから、社日様のことを広報長洲の「郷土の遺跡を訪ねて」の欄にのせてほしいといつて手紙を届けられた。それから一ヶ月程過ぎた頃、広報の取材にかり、うららかな春日の一日、私は社日様を訪ねることにした。

先づ最初に訪問した区長さんは留守で、顔見知りの隣家の奥さんに、宮島さんが社日様のことを詳しく聞き、その家を訪ねた。そして、折よく在室中の宮島さんの案内で社日様に行くことができた。

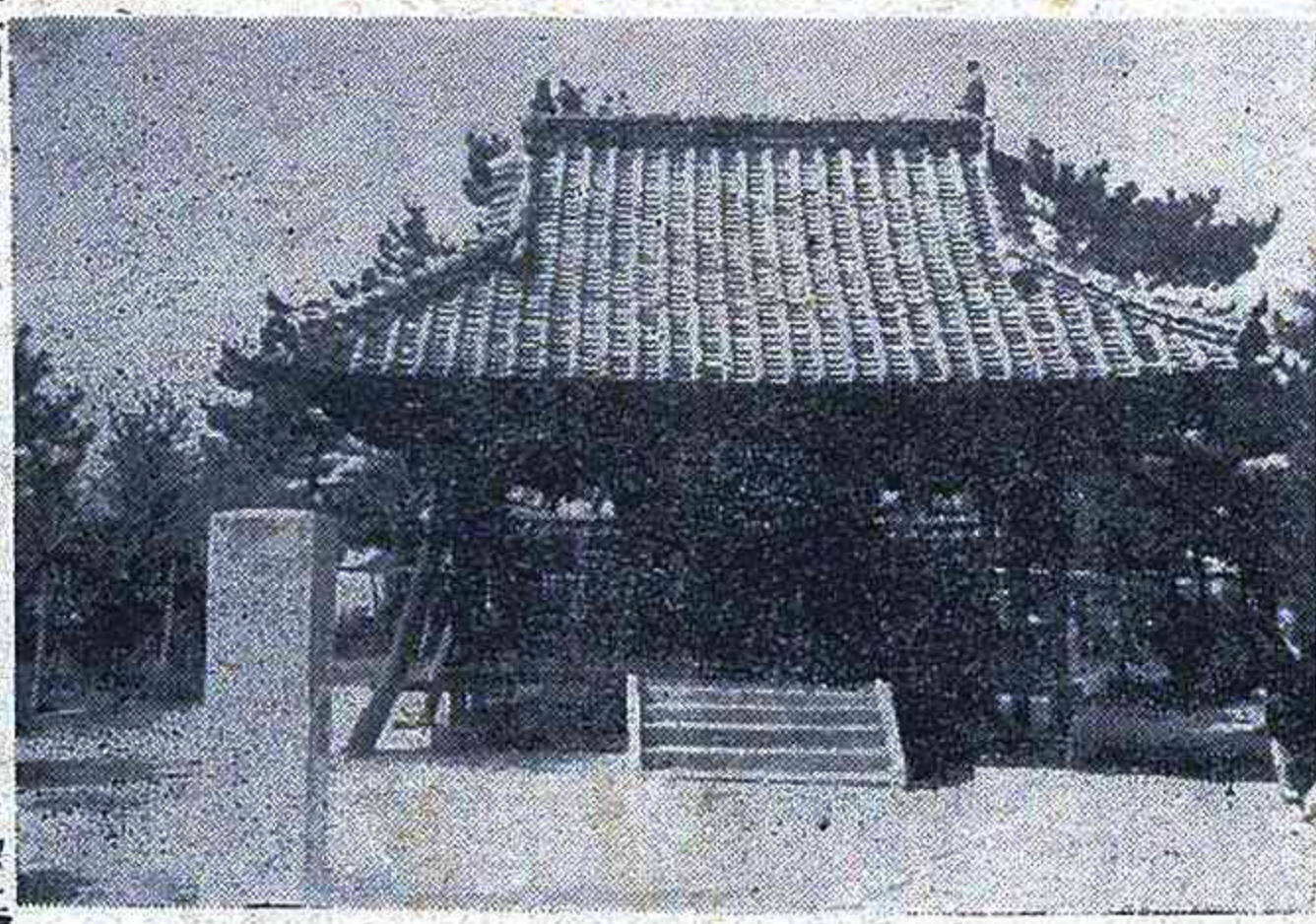
社日様は汽車の窓からよく見える塩屋の天満宮の境内の南東の隅に祀つてある御神体が石の神様であつた。

案内の宮島さんと、ちよつとそこに来合わせた地区館長の太く、農民は稔りの秋を迎え川さん、それに福田区長さんのようになつたといふ。

私が訪ねていつた時も、春の社日様に上られた真新しい注連縄が御神体の石にかけられていた。社日様は作神様といわれ、詳しいことはわからないが古来の話によれば豊受大神を祀つたものといふ。

社日様を境内に祀つてある天満宮は、菅原道真を祀つた天満宮と、観世音菩薩を安置した観音堂とが合体した神仏混淆の名残り止めのお宮だといふ。

このお宮は、世人からイボ観音と呼ばれる位のイボの神様でもあり、又、安産の神様ともいわれる、女のたちだけのおとももあるといふ。



民からは「阿蘇さん」といふて、豊後朝のたぐひに二に線上げ親しまれてきたといふ。健甕龍は、神武天皇の皇子神八井耳命の御子である。例祭は十一月二日であつたが、今はそれも昔語りである。